



皆さん獅子舞に興味津々

今年も、正月恒例の餅つき大会を新しい臼で各施設にて行いました。

# 新春恒例！もちつき新年会



発行元  
社会福祉法人啓光福祉会  
東京都多摩市和田一七一七  
〇四二 三七五 七三〇三



なかまの樹の新年会

また、今年はご近所にお住いの方に協力ををお願いし、獅子舞を披露していただきました。獅子舞を初めて

見る利用者さんが多く、驚きと歓喜の声が上がつていました。



啓光ホームでは皆さん協力して  
お雑煮を作り  
つきたてのお餅を入れて食べました

【啓光ホーム】では、昨年開設した啓光ホームおおぐりの駐車場に特設会場を設けて三ホーム合同の餅つきを行いました。

参加された利用者さんが、代る代るに杵を持ち、五臼を搗き上げました。搗きたての餅は、皆で完食しました。



啓光えがおの餅つきは  
健幸福祉プラザの中庭で実施しました



昨年、三菱電機株式会社様とその従業員の方々で組織される三菱電機ソシオルーツ基金様より、啓光学園児童部にご寄付をいただきました。そのお手数ですが、お預かりした金額を算入してお送りいたします。この度は、大変お世話になりましたこと、心より御礼申し上げます。

【ご支援に御礼  
三菱電機ソ

三菱電機ソ

く御札申し上げます。  
令和の幕開け、改めて社会福祉法  
人の基本に立ち返り、利用者本位に  
基づくサービスの徹底に努めて参り  
ますので、引き続きご指導、ご支援  
の程宜しくお願ひ申し上げます。

皆様におかれましてはお健やかに  
佳き新春をお迎えのこととお慶び申

謹賀新年



# 住民として安全に暮らせる場を…

～不適切な支援の根絶にむけて～

全国の施設従事者による障害者虐待件数（平成30年度）が前年度に比べ28%増加（464件→592件）とのデータが届きました。平成24年の虐待防止法施行以降、相談・通報件数及び被虐待者数ともに最高値となりました。啓光学園では今年度、不適切な支援を含む事故や支援ミスが連続して発生する事態となってしまいました。起きてしまった出来事への表面対応だけではなくなかなか事態は変わりませんでした。複数の事例の要因を探つていくと、水面下に隠れるまさしく氷山のごとく大きなものが見えてきました。知らず知らずのうちに固定構造の問題、そして仕事の動機や自信などメンタルの部分です。

そこで私たちはこれらの問題を真摯に受け止め、改善とあらたな出発への原動力を得るためにひとつ決まりを作りました。その第一条にあるのが「ひとりになるな、ひとりにさせんな」です。これは職員同士がお互いに目を配り常に連携し合うことで支援の適正化を図ることはもとより、利用者に対する見守り強化、さらには部署間の連携や施設と地域との関係にも言及した意味を込めています。どんなに誇り高いものがあつたとしても、職員や施設が孤立していましたから健全な状態とは言えません。ご家族をはじめ行政、他施設などの関係機関、そして地域などあらゆる

待件数（平成30年度）が前年度に比べ28%増加（464件→592件）とのデータが届きました。平成24年の虐待防止法施行以降、相談・通報件数及び被虐待者数ともに最高値となりました。啓光学園では今年度、不適切な支援を含む事故や支援ミスが連続して発生する事態となってしまいました。起きてしまった出来事への表面対応だけではなくなかなか事態は変わりませんでした。複数の事例の要因を探つていくと、水面下に隠れるまさしく氷山のごとく大きなものが見えてきました。知らず知らずのうちに固定構造の問題、そして仕事の動機や自信などメンタルの部分です。

そこで私たちは施設従事者として、社会の中の役割において、事実を訴えることのできないひとたちを守る最前线の立場にいることをさらに強く自覚し、率先して虐待防止に取り組んでまいります。

私たちは施設従事者として、社会の中の役割において、事実を訴えることのできないひとたちを守る最前线の立場にいることをさらに強く自覚し、率先して虐待防止に取り組んでまいります。



権利擁護委員会全体会の様子

◆ 権利擁護委員会  
全体会報告  
令和元年11月29日（金）、啓光ホールで権利擁護委員会全体会が開催されました。今年度は、啓光学園、啓光えがお

から利用者さん13名、ご家族6名、職員13名が出席し、虐待事例の報告、および各事業所で取り組んできた虐待防止に関する具体的方策について話をしました。入所と通所といった事業所ごとの課題の違いがあるとともに、当事者と施設従事者及び養護者といった立場の違いがありますが、それらを超えて「権利擁護」について多角的に考えるのが権利擁護委員会の目的です。

利用者さんやご家族の方からの貴重なご意見やご指摘を聞くことができ、とても有意義な会となりました。それらを超えて「権利擁護」について多角的に考えるのが権利擁護委員会の目的です。

■ 来年八月開設！  
グループホーム34室



今年は、在宅障がいの方々が長年切望されておられました、重度対応型のグループホームの整備に着手出来ることとなりました。

今回の計画は、啓光学園近隣の用地二か所をお借りすることができ、一ヵ所に二棟、計四棟を建築し合計定員34名の新築整備を行うというものです。

開設は、来年8月を予定しておりますので、皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

■ 芋掘り農業体験に  
保育園児を招待！



芋ほりイベント当日の様子

ハロウィンにちなんだ歌遊びと薩摩芋の収穫を楽しみました

啓光ファームでは、昨年10月8日に多摩保育園の園児の皆さん45名を招待し、第3回薩摩芋掘り農業体験イベントを開催しました。沢山の薩

摩芋が収穫され、当日は啓光学園にて音楽療法を行っている西村直人氏をゲストに招いての「歌と音楽のステージ」も催し、大盛況がありました。また、元気な子供たちの笑顔が沢山見られた他、啓光学園からも6名の利用者さんが参加され、子供たちを温かく見守りました。このような企画は地域と関わる大切な機会であり、施設活動への理解や双方の関係の橋渡しとなるよう継続していきたいと考えています。

## 啓光学園／児童

今年度の休日活動は、利用者さん一人ひとりの意向を伺いながら、希望の場所へ外出する機会を設けました。

通常の買い物など近隣への外出とは違つて、いつもとは違う特別な日を楽しんでいた。映画鑑賞、プール、室内遊びなど、自分たちが希望した外出先に出掛ける事が出来て満足している様子で、児童の利用者さんの成長にこのような体験を重ねることはとても大切なことだと考えていました。



室内遊技場でボールプールを楽しみました

今後も休日や長期休みを利用して様々な場所への外出を行うことで、児童の利用者さんに必要な経験をする機会を設けていきたいと思います。

## 啓光学園／成人

9月5日から6日の1泊で成人の利用者さん全員で山中湖に宿泊旅行に行つてきました。

1日目は、それぞれグループに分かれて山登りやカヌー体験などをして山中湖の周辺のアクティビティで楽しみました。夜は、宿泊先でキャンプファイヤーと花火を行いました。



カヌー体験

利用者さんのリクエストの演奏も行い大変盛り上がりました。2日目は、水陸両用車「KABAバス」に乗りました。バスが湖に入る時は、利用者さんちよつとびっくりしました。西村氏が楽曲の他、用意した



「ぱらあーと」での作品展示と作品制作の様子

## 啓光学園／生活介護

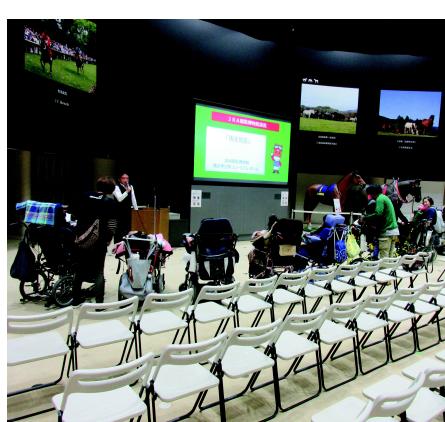
和田作業室では、“楽しい時間を過ごす”を支援の中心に置き、絵の具やペン等を使った絵画やアート制作での表現活動に力を



水陸両用車「KABAバス」

しました。普段体験できないことを体験することで利用者さんそれぞれがとても楽しんでいる様子が見られました。

今回の宿泊旅行では、グルーピングで利用者さんの希望の元、山中湖の周辺のアクティビティや観光を行つてきました。実体験など、普段体験できないことがばかりでした。そしてなんといつても圧巻だったのは、競走馬や馬車の迫力でした。目の前を歩く馬の雄大な姿を肌で感じることができ、忘れられない思い出になつたと思います。



競馬博物館内で様々な体験をしました

## なかまの樹

11月14日、なかまの樹は府中競馬場への日帰り旅行に行きました。当日は天候に恵まれ、利用者さんの笑顔が絶えない外出になりました。馬についての豆知識、世界の競馬の歴史と日本の競馬の歴史、そしてレースのゲート開閉スイッチ操作の

を入れました。個人や共同制作の作品は多摩市障害者美術作品展への出展や来年度より家族連絡会で毎回1～2点ずつの展示を予定していますので御期待下さい。

## 啓光えがお

【楽しみながら体を動かす】



多目的ホールを利用しての運動プログラム

今年度の法人の事業計画の一つに、健康支援の充実があります。啓光えがおは、運動プログラムを週に1回から2回に増やして、利用者さんに体を動かす機会を提供してきました。

1回は、運動講師によるリズムに合わせた体操やボールなどの器具を使つた運動です。もう1回は、リエーション的な運動プログラムを行っています。今年度は、担当職員が工夫して、分かりやすくアレンジしたルールで競技要素を取り入れてみました。知らず知らずのうちに白熱し、体を大きく動かしたり、ジヤンプしたり、息を切らしたりしていふ姿も見られ、笑顔の多いプログラムとなっています。

## 啓光ホーム

次年度は、個人の身体の事情や特徴に合わせて、一人ひとりにあつた運動プログラムへと発展させようと計画しています。

啓光ホームの今年度の宿泊旅行は、石村ホームとおおぐりホームが伊香保温泉、いづみホームは東京ディズニーシーと2つのグループに分かれています。



ディズニーシー旅行の様子

事前に利用者会議を開いて、行き先や食べたいもの、旅先での注意事項などを話し合うことによつて、企画の段階から利用者さんが主体となつて関わつてもらいました。

伊香保温泉は紅葉が始まり、デイズニーシーはハロウィンのイベントやグツツであふれており、どちらも季節を感じられるとても良いタイミングでした。今後も利用者さんが楽しく安全な旅行を企画できるようにお手伝いしたいと思います。

児童発達支援管理責任者（児発管）とは、障害児を対象とした施設などで最低1名配置しなければならない職種です。

児発管の業務内容は、子どもの成長に合わせた支援プロセスの管理（個別支援計画の作成・評価・見直し）や職員への助言といった内連携といった外向きの役割の他、本人及びご家族への相談・援助が挙げられます。

その中でも個別支援計画は子どもの成長を形作る設立図ともいえる大変重要なツールであり、現場の支援計画を作成し、一人ひとりに寄り添つた支援が行えるよう取り組んでいます。

## おしごと紹介（児童発達支援管理責任者の仕事）

と暮らすこ  
とが人生の価値  
大人の方々  
といきたい  
思います。



### <啓光福祉会 事業所一覧>

○啓光学園（法人本部）／知的障害者（児）入所施設  
東京都多摩市和田 1717 TEL 042-375-7303

○なかまの樹／重症心身障害者通所施設  
東京都多摩市和田 1730-3 TEL 042-356-4006

○啓光えがお／知的障害者通所施設

東京都多摩市南野 3-15-1 二幸産業・N S P 健幸福祉プラザ 1.2F TEL 042-376-5044

○啓光ホーム／知的障害者グループホーム

①啓光ホーム石村 東京都多摩市一ノ宮 4-27-12 TEL 042-339-7513

②啓光ホームおおぐり 東京都多摩市一ノ宮 4-39-15 TEL 042-319-3380

③啓光ホームいづみ 東京都多摩市和田 1721-7 TEL 042-401-9331

○啓光相談支援センター／特定相談支援事業所

東京都多摩市南野 3-15-1 二幸産業・N S P 健幸福祉プラザ 1F TEL 042-376-5044